

二〇二一年度 日本語・日本文学科 卒業研究題目一覧

| | | | |
|-----------------------|--------|-------------------------|--------|
| 漫画『風の谷のナウシカ』論 | 大原 菜々恵 | 村上春樹「羊をめぐる冒険」論 | 遠藤 芹菜 |
| 東野圭吾論 | 木村 友香 | 同性愛と女性の地獄 | 大河 絵里子 |
| 古代日本文学における「見るな」の禁忌 | 古村 ありさ | 『源氏物語』における紫の上の考察 | 大城 里奈 |
| 泉鏡花論 | 齊藤 まどか | 村上春樹論 | 大場 涼華 |
| 江戸川乱歩『人間椅子』論 | 堀川 希梨 | 『源氏物語』における朧月夜の君について | 大山 玲奈 |
| 日本古代の他界 | 森 愛香 | 『源氏物語』における恋情表現について | 小原 紗波 |
| 有吉佐和子論 | 青柳 花音 | 『落窪物語』における人物考察と巻四の意義 | 片桐 真陽 |
| 平将門の首をめぐる「呪い」と「笑い」 | 青山 歩友 | 『源氏物語』における光源氏の女君の死について | 鴨崎 梨夏 |
| トータムとしての水棲生物研究 | 浅妻 朱音 | 夏目漱石論 | 河井 ひかり |
| 久米島におけるウチナーヤマトウグチの研究 | 新崎 留也 | 平野啓一郎作品論 | 川井 麻理 |
| ― 助詞の用法を中心に ― | 飯田 樹理 | 小津安二郎『東京物語』論 | 菅野 綾乃 |
| 村上春樹論 | 石上 結愛 | 日韓文化論 | 黒島 美月 |
| 『楽毅論』の研究 | 石田 椎菜 | 古代人の食生活からみる仏教 | 後藤 利珠 |
| 東野圭吾論 | 伊藤 聡 | 『源氏物語』における光源氏の政治と恋愛について | 小林 実生 |
| 佐々木丸美論 | 今泉 里彩 | 吸血鬼表象と少女漫画 | 斉藤 楓香 |
| 『源氏物語』における「長恨歌」引用について | 岩佐 菜々子 | 『雨月物語』「菊花の約」論 | 齊藤 美生 |
| 漱石作品の中の絵画 | 岩佐 梨花 | 若年層における尊敬語の使用実態 | 佐々木 里菜 |
| 白居易と音楽の関係性について | | | |

『新古今和歌集』から見る植物語彙及び植物関連語彙の比較研究

佐嶋紀乃

悲慘小説論

入水譚の研究

中崎千尋

新言文一致の研究

佐藤彩芽

中世文学に描かれる植物に宿る精霊

『日本霊異記』における鬼について

中村優里

安部公房論

佐藤響

鑑真と海難

西村芽唯

戦後における二人称代名詞の変遷

佐藤美緒

村田沙耶香論

野村明里

くアナタをテーマに

佐野瑠奈

『和泉式部日記』論

羽賀汐音

『紫式部日記』論

澤田真衣

台湾人日本語学習者の日本語の文法と音声の誤用について

橋本 枇菜乃

「あ」系の感動詞、及び呼びかけ・訪問の感動詞の変遷

曾根田水月

川上未映子論

長谷川 ひなた

プリアキアと子ども論

高島 葵

日本の小さ子物語

兵藤 ななみ

日本人と湯の文化

高野 ちひろ

李白と杜甫の比較

平井 景及

古代日本における女性の仏教受容

高橋 真央

『日葡辞書』における連濁の研究

藤崎 日和

川上未映子論

竹田 真佑

田山花袋論

藤田 莉吏果

山東京伝『一百三升芋地獄』論

谷口 沙弥

『源氏物語』における物の怪

藤原 さくら

『死霊解脱物語聞書』論

月居 陽南

『枕草子』自讃談からみる私性

古田 優羽

織田作之助論

堤 葉月

『天草版平家物語』における美的表現について

星野 智子

超能力とミステリ論

津村 奎佳

『蜻蛉日記』における登場人物の役割

本多 加奈

江戸後期から大正期における公的言語の変遷

富田 夕希奈

『枕草子』における美的表現について

本田 風花

カムイユカラ論―サケへと自叙神の関連―

長尾 優花

『蜻蛉日記』における登場人物の役割

溝 侑夏

顔真卿評価論

坂口安吾論

川上未映子『夏物語』論

中世における〈田舎〉を意味する語について

『ドキドキ文芸部』論

【クラスター卒業研究】

〈他学科からの提出〉

文化総合学科から

古代東アジアにおける龍の形成と伝播

宮村桃子

村上倫子

本谷内麻由

森沙瑛

米田ゆうみ

中川碧